

第19回氷川参道歩行者専用化検討協議会【書面開催】意見聴取結果

(意見聴取期間：令和4年1月24日～2月4日)

資料1・・・“第18回 検討協議会開催結果の報告を掲載”

●『第18回氷川参道歩行者専用化検討協議会』のご意見をまとめたもの



内容：調査についてのご意見と反映状況など 詳細を掲載

資料2・・・“10月5日（火）に実施した実態調査内容を掲載”

●主に2種類の調査を実施

I 歩行者・自転車通行状況実態調査

結果

【通行量】：中区間は継続的に安定した利用がされている。

【時間帯別通行量】：通行量の変化より以下の傾向が想定される。

歩行者：中区間（余暇）、北・南区間（通勤通学、買い物など）

ランナー：健康維持、自転車全般：通勤・通学、ベビーカー：散歩

【通行状況調査】：中区間は自転車全般に渡りキープレフトが守られていた。

II 車両交通実態調査

結果

【車両方向別調査・ナンバープレート調査】

：スクールゾーン規制時間帯（7:30～8:30）は、大宮高校校門前の通行量が通常時より6割程度多くなる傾向。

：午後は、午前に比べ参道の交通量が2割程度多い。

【交通経路調査】：南区間を通過する車両の約4割は産業道路方面に向かう。

【安全面の調査】：安全面での問題発生地点はなし。

資料3●今後のスケジュール

R3年度

内容：調査 **終了**  
対象エリア：南大通東線 南側

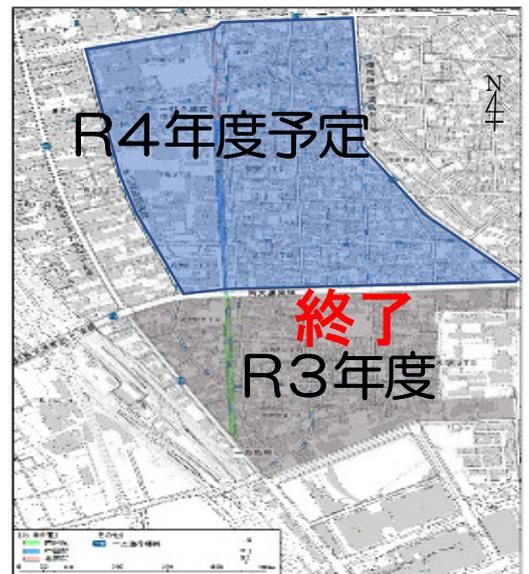
R4年度予定

内容：調査  
対象エリア：南大通東線 北側

R5年度予定

車両交通実態調査結果を合算・分析

全体として問題点を捉え確認する。



※詳しくは本編をご確認ください。

次回の会議は、令和4年8月中に開催予定。

氷川参道歩行者専用化検討協議会の委員の方、数名よりご意見をいただきましたので、以下に記載します。

## (1) 調査結果についてのご意見

○現状で「北向き南向き共に石張り端を走行する自転車が8割以上」とあるが、Cエリア(中央)走行をキープライトに入れるのは違和感あり。何か理由があるのでしょうか。

⇒自転車の走行位置に関しましては、歩行者が端を通行していて仕方なく中央を走行することも考えられるため、明らかにキープライトと思われるものを除きCエリア(中央)走行を含めて計上していません。

○南大通東線の南地区を調査しているが、歩行者専用である中区間における問題発生状況をみてほしかった。  
(自転車の運転マナー)

⇒歩行者専用である中区間の問題発生状況につきましては、当該区間はクルマが起因する問題はないことから、これら(自転車の運転マナー)の確認を定量的に把握できる走行位置の調査としています。

○ナンバープレート調査結果の内容が十分に理解できない。

⇒ナンバープレート調査は、自動車の交通実態を把握することを目的としたもので、ある時間帯における自動車の通行経路を把握する調査です。

この調査結果によると南側の特定の進入路から自動車が進入し、大宮高校校門前の路線に交通が集中する傾向がみられました。

このことから、このエリアを南北に通過する交通が集中する路線の存在がデータ上で明らかになりました。

これらを踏まえまして今後北区間の調査をしたのち、シミュレーションをかけ問題の改善方法を検討して行きたいと考えております。

## (2) ご感想および情報

○更なる検証が必要と考えるに同感

○2022年4月より吉敷町3丁目に保育園が新設される予定と聞いていますので状況が少々変わると思います。

○大宮高校、南中学校前の交通に於て今後考えなければならないのが塚原産婦人科のあとに保育園が出来る事、小学校、中学校、高校生の通路と園児の通路として自動車の量が増える問題が三丁目としてあります。

⇒問題解決に向け、通学時間帯などにスクールゾーンの範囲を新たに増やすなど吉敷町3丁目の自治会の皆様にご協力を頂ければと思います。

以上